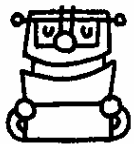


## 家にあるもので、二酸化炭素をつくれるの



ドライアイスや炭酸飲料水があるならかんたん。すがあるなら、いろいろなものからつくれるさ。

ケーキやアイスクリームを買ったとき、入ってくるドライアイスを利用しましょう。ドライアイスは、 $-78$  で気体の二酸化炭素になる、固体の二酸化炭素のかたまりです。また、二酸化炭素は、空気より重い気体なので、下のほうからたまってきます。この特ちょうを利用します。

ドライアイスを、小さいあきびんなどに入れ、全部とけるまでふたをしないで置いておきます。すると、びんの中の空気は、下からたまってくる二酸化炭素によって外におし出され、びんの中は、二酸化炭素だけになります。

冷えたビールや炭酸飲料水をペットボトルなどに入れ、湯につけて温めたり、しばらく置いて室温になったものをゆすると、二酸化炭素があわになって出てきます。気体の水にとける量は、温度が上がるとへっていくため、温めると、とけきれなくなった気体が出てくるのです。

### すの化学変化で、二酸化炭素を出す

すや、ミカン、レモンのしるなどのような酸の液に、重そうを入れると、化学変化が起きて、二酸化炭素が出てきます。

すの中に、アサリやシジミなどの貝がら、<sup>たまご</sup>卵のからなどを入れると、二酸化炭素のあわを出しながらとけていきます。ときどきゆすると、早くとけて、二酸化炭素が集めやすくなります。

